

ダストジャー H型 取扱説明書

このたびはダストジャーH型をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、正しくご使用ください。また本書は汚したり破いたりせず、大切に保管してください。

1. 概要

本製品は、衛生試験法に準拠したダストジャーによる降下ばいじん採取装置です。

本製品は、取り扱いが簡単、運搬が容易、風の影響を受けにくいなどの利点があります。

2. 仕様

品目コード	080080-07
ガラス円筒寸法	外径φ165×内径φ157×高さ220mm：質量1.2kg
装置寸法	405(W)×400(D)×1700(H)mm [ガラス含まず]
装置質量	18kg

3. 構成

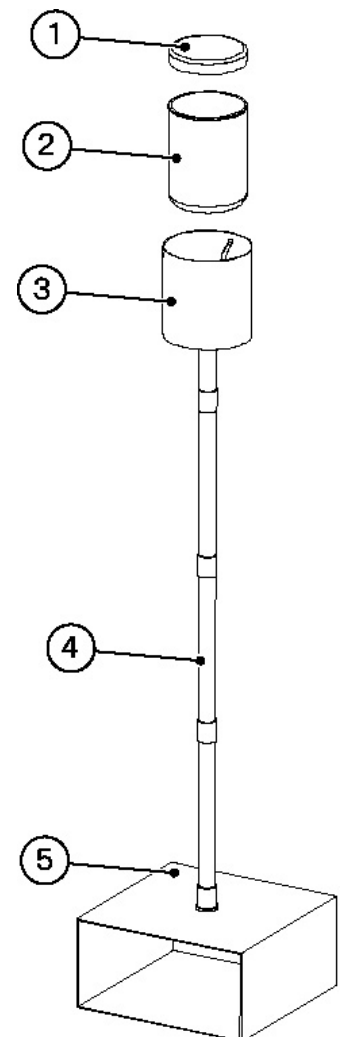
部番	品名	個数
①	ガラス円筒用キャップ	1個
②	ガラス円筒	1個
③	ガラス円筒受け	1個
④	支柱	3本
⑤	台座	1個

4. 組立、据付

- 1) 開封し、破損・欠品の確認をしてください。
- 2) 台座⑤に支柱④を順次ネジ込んでください。
- 3) ガラス円筒受け③を支柱④に充分にネジ込んでください。
- 4) ガラス円筒受け③にガラス円筒②を真上より差し込んでください。
- 5) ガラス円筒②にガラス円筒用キャップ①をかぶせます。
※ 降下ばいじん捕集時は取り外します。
- 6) 風等で動かないように台座⑤の中にブロックなどの重量物を入れて固定してください。
ガラス円筒受け③にワイヤーを張って固定すると、より強度が増します。

5. スペアパーツ

・ φ165mm ガラス円筒【標準付属】	080080-072
・ φ165mm ガラス円筒用キャップ【標準付属】	080080-074
・ φ137mm ガラス円筒（旧タイプ）	080080-052
・ φ137mm ガラス円筒受け（旧タイプ）	080080-073
・ φ137mm ガラス円筒用キャップ（旧タイプ）	A80080-001



6. 降下ばいじん捕集法

「試験操作」

ダストジャーを地上数 m の適当な場所に設置し、瓶の底部に底のかくれる程度に水を常に入れておく¹⁾。
約 1 ヶ月間放置したのち、ダストジャーの内容物を 20mesh のスクリーンを通して異物を除去し、次いで重量既知のろ紙でろ過する。ジャーの内容物を水で洗って粒子状物質をすべてろ過したろ紙は 105℃で乾燥し恒量にしたのち、ひょう量し、不溶解成分量を求める。

ろ液は、ビーカーなどで蒸発させ小容量にし、次いで重量既知の蒸発皿に移し、水溶上で蒸発乾燥する。蒸発皿を 105℃で乾燥し恒量にしたのち、ひょう量し、溶解成分量を求める。

計算：各成分量を次式により求める。

不溶解成分量または溶解成分量 (t/km²/30 日)

$$= 1.273 \times \frac{W}{D^2} \times \frac{30}{n} \times 10^4$$

W ：ジャーに採取された不溶解成分量または溶解成分量 (g)

D ：ジャーの口径 (cm)

n ：ジャーの放置日数 (日)

【注解】

- 1) 夏期に降下ばいじんの捕集瓶内の水に藻が発生しやすいので、0.01mol/l 硫酸銅溶液 10ml またはパラクロロフェノール 1g を入れる。また、冬期に水の凍結でガラス瓶が破損することがあるので、凍結防止剤として、エチレングリコールやイソプロピルアルコールを入れる。

— 衛生試験法・注解 2005 より抜粋 —

11.08.01H (02)



SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.

柴田科学株式会社

本 社 〒340-0005 埼玉県草加市中根 1-1-62

東京営業所 ☎03-3822-2111 福岡営業所 ☎092-433-1207

大阪営業所 ☎06-6356-8131 仙台営業所 ☎022-207-3750

名古屋営業所 ☎052-263-9310

<http://www.sibata.co.jp/>

カスタマーサポートセンター (製品の技術的サポート専用)



0120-228-766 FAX : 048-933-1590

フリーダイヤル

注) 改良のため形状、寸法、仕様等を機能、用途に差し支えない範囲で変更する場合があります。